

rejection]

[Kind of final disposal of application other than
the examiner's decision of rejection or
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

標準使用

	項 目	規 格
2-1	定格電圧	(1.3) V DC
2-2	定格負荷	(分銅付)
2-3	定格回転数	7000±1600 rpm
2-4	定格電流	(80) mA 以下
2-5	回転方向	(赤リード線) に+を印可した時、出力軸側より見て(CW)方向回転
2-6	モータ姿勢	出力軸(全)方向

本測定は、温度20℃±5℃、相対湿度65%±15%のもとで行うものとする

【0011】

* * 【表2】

電気仕様

	項 目	測定条件	規 格
4-1	定格回転数	定格電圧・定格負荷にて測定	7000±1600 rpm
4-2	定格電流	定格電圧・定格負荷にて測定	(80) mA 以下
4-3	起動電圧	無負荷においてロータがいかなる位置においても起動する最小値を測定	(0.9) V 以下
4-4	起動電流	定格電圧にて測定	(*) mA 以下
4-5	電機子抵抗	温度20℃±5℃のもとで測定	(*) Ω 平均値

本測定は、温度20℃±5℃、相対湿度65%±15%のもとで行うものとする

【0012】

※ ※ 【表3】

環境仕様

	項 目	環 境 条 件
5-1	保存温度試験	-20℃・70℃に96時間放置し、室温に24時間放置後、本仕様を満足すること
5-2	湿度試験	温度+40℃・相対湿度90%中に96時間放置し、室温に24時間放置後、本仕様を満足すること
5-2	振動試験	最大全振幅1.52mmで振動周波数が10Hzから55Hzへ戻る全周波数範囲を約1分間で往復する振動を3つの互いに直角な方向へ各10分間加えた後、本仕様書を満足すること

【0013】

【発明の効果】本発明はダイヤ・パール等付指輪であって、前記ダイヤ、パール等に替えて振動装置を取付けて指先を振動させることを特徴とする振動式指輪であり、★50

★また円形状の指輪台座上に振動モーター及びボタン電池を付設すると共に円縁部にスイッチ接点を取付け、かつ該指輪台座を指輪リングに取付けた振動指輪本体と、該振動指輪本体の指輪台座を嵌合する蓋部とから成る振動

5

6

式指輪であり、更に前記振動指輪本体をマッサージ用、ダイエット用及び歯槽膿漏予防等に用いる振動式指輪であるから、次のような多くの効果を有する

ア、従来のアクセサリ専用である指輪を実用性を加味させた指輪として使用することができる。

イ、指輪全体を振動させることができると共に、その振動がワンタッチの操作で作動することができるので、便利でしかも実用化を図ることができる。

ウ、指輪本体を振動させることによって、蓋部が振動されるのでマッサージ代わりに使用することができる。また、マッサージ以外のダイエット用や歯ぐきをマッサージすることによって歯槽膿漏の予防用としても利用する

ことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の振動式指輪を示した概要図。

【図2】図1に示した指輪の一部拡大断面図。

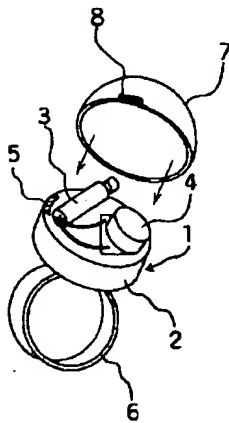
【図3】図1に示した指輪本体の拡大平面図。

【図4】本発明に使用する振動モーターの概要図。

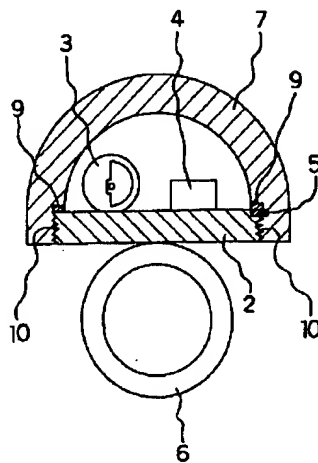
【符号の説明】

- | | | | |
|-----|--------|---|-------|
| 1 | 振動指輪本体 | 2 | 指輪台座 |
| 3 | 振動モーター | 4 | ボタン電池 |
| 5、8 | スイッチ接点 | 7 | 蓋部 |
| R | リード | | |

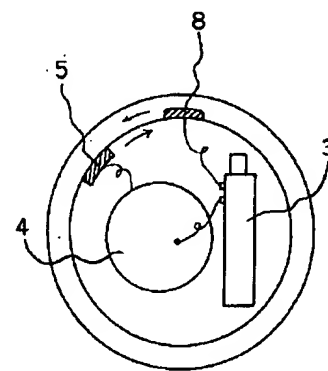
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

